

吊 治 具 伸 縮 バ ラ ン サ ー 8 t

取 扱 説 明 書

株 式 会 社 **ア ク ティ オ**

2011年 8月

ご利用頂く前に、必ずこの取扱説明書をお読み頂きまして、常に正しい操作と正しい取扱いを行ってください。

取扱いを誤りますと重大事故を起こす可能性もありますので充分にご注意ください。

本製品は、玉掛け技能講習修了者及びクレーン免許所有者が使用するもので、本説明書に記入がない場合でも通常の玉掛け作業に準じた注意をお願いします。

注意事項

- ・8000kg用ですが、すべての位置で8000kg吊る事は出来ませんので、取扱説明書と参考表に従い最大荷重を超えないようにしてください。
- ・片荷にしないでください。
- ・吊位置以外で荷を吊らないでください。
- ・本体を改造しないでください。
- ・急激なクレーン操作をしないでください。
- ・天候の悪い時には使用を中止してください。

目次

1. 目的・使用方法	1
2. 作業時の荷取吊治具の動き	2
3. 最大荷重と姿勢変化(参考表)	3~8
4. 各部変化と荷取吊治具の姿勢の関係	9
5. 外形図	10
6. 始業前点検表	11

1. 目的・使用方法

1-1 目的

本品は、現場作業において、安全に、しかも容易に、荷を取り込めようにすることを目的とします。

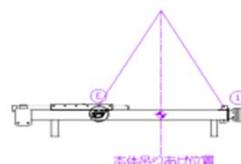
特徴

- ・伸縮ウエイトの採用により、作業状況毎に、ウエイト位置を容易に可変できる事。
- ・伸縮ビームを付属させたことにより、吊り位置を変更することなく、容易に軽量物より建物の奥まで荷を取り込むことが可能になる事。

1-2 使用方法

1-2-1 搬入時、トラックから(空荷時)吊治具本体の荷降ろし

- ① 各部のボルトが緩んでいないことを確認する。
- ② 後端と、荷降ろし位置(E-①)の吊り位置を利用し吊りあげ移動する。
- ③ この時4本のワイヤー長さは同一長さのものを使用してください。
- ④ 本体重量は3075kgですので、重量に見合うワイヤーをお使いください。



1-2-2 本体吊上作業

- ① ワイヤーは7mを4本を使用することを基本とし、本体重量3075kg+吊荷重量を加えたものに見合うワイヤーをお使い下さい。(φ22.4mm×7m推奨)
- ② 参考表により、最適な吊り穴と、伸縮ウエイト位置を選びます。
- ③ 後端部にある本体吊り用にワイヤー2本を取付けます。(計4本のワイヤーにて吊上)
- ④ 伸縮ウエイト固定ボルトを外します。
- ⑤ 伸縮ウエイト移動ハンドルを回し、ウエイトを希望位置まで移動します。
(この時手を挟まれぬよう注意してください。)
- ⑥ 伸縮ウエイト固定ボルトを取付け固定します。
- ⑦ 吊荷重量に対応した本体吊り用位置(A～F)に玉掛けワイヤーを2本取付けます。
この時必ず左右対称になる様にして、片荷にならないようにして下さい。

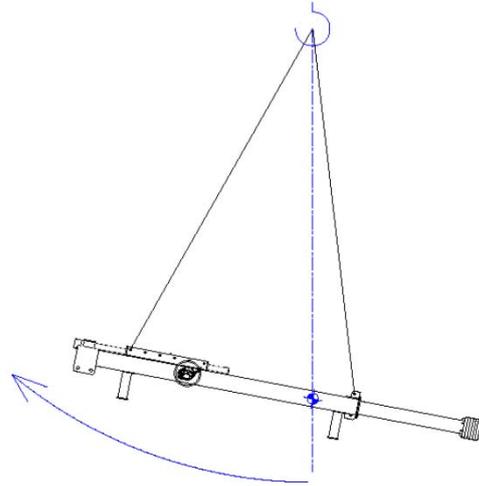
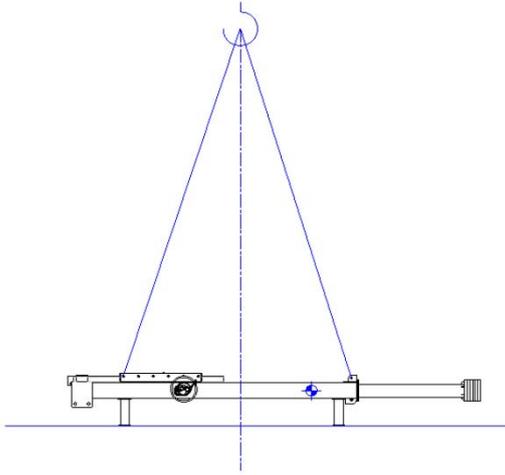
1-2-3 伸縮ビームの利用

- ① 伸縮ビーム固定ボルトを緩め、ビーム(手動)を引き出します。
- ② 伸縮ビーム固定ボルトを締め込みます。
- ③ 本体吊り用ワイヤー位置は必ず前端吊部Aにして下さい。

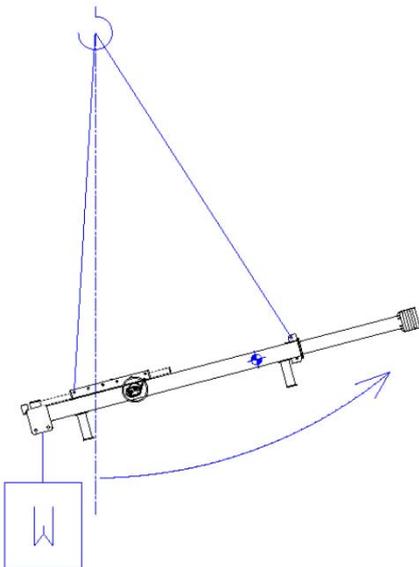
1-2-4 荷吊り作業

- ① 通常の玉掛け作業と同じですが、下記の点を十分に注意してください。
- ② 本品が、大きく上下、前後に動きます。クレーン操作と連携し安全に作業をして下さい。
- ③ 吊り荷用ワイヤーは必ず2点以上として下さい。
- ④ 荷の吊り始め及び荷降ろし後は、吊治具本体が上下、前後に姿勢変化します。
適切なクレーン操作と連携し、十分な作業半径エリアを確保して下さい。
- ⑤ 介錯ロープは、伸縮ウエイトに固定して下さい。

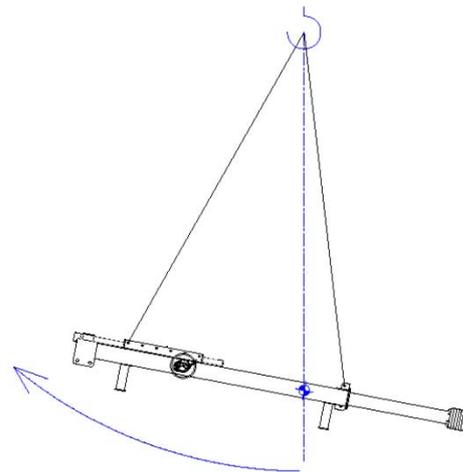
2. 作業時の荷取吊治具の動き



地切りすると前方上側に上がります。

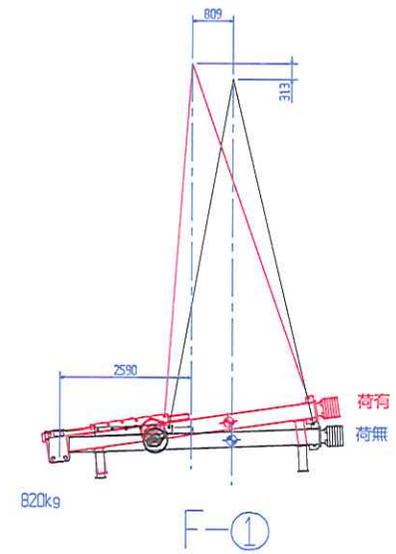
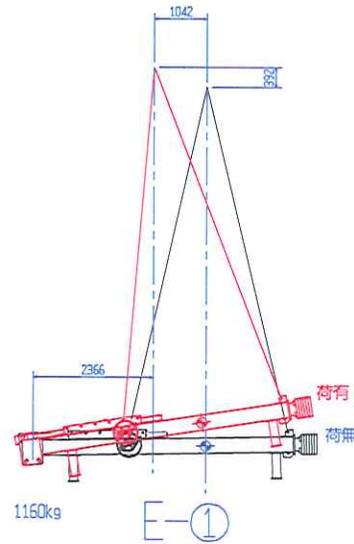
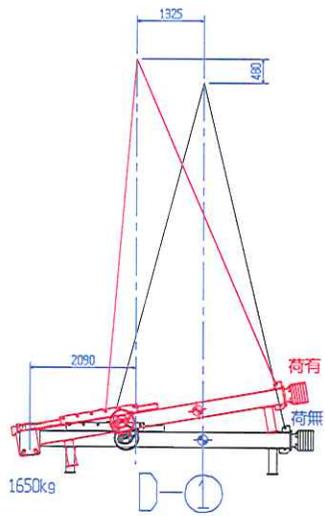
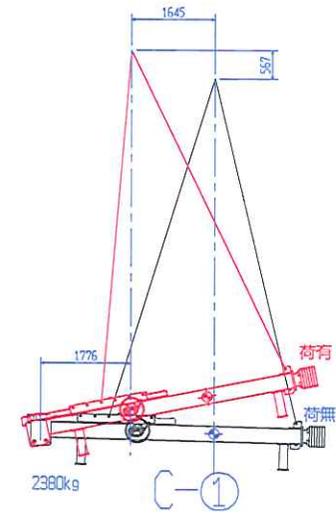
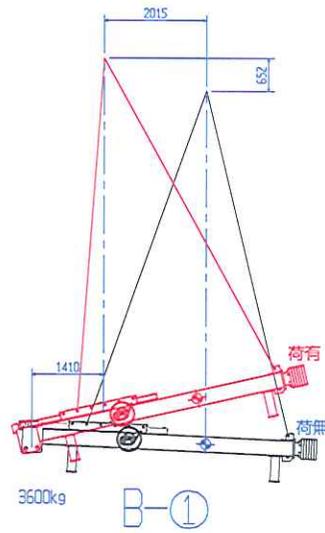
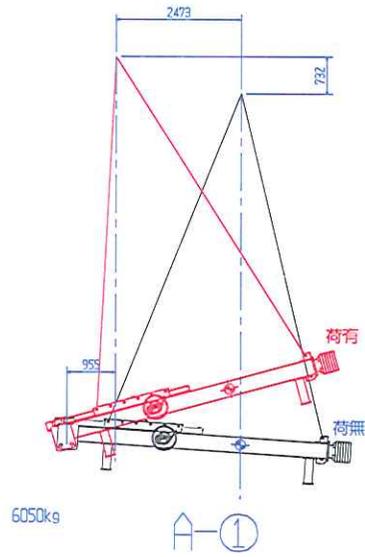


荷を上げると、後方上側に移動します。

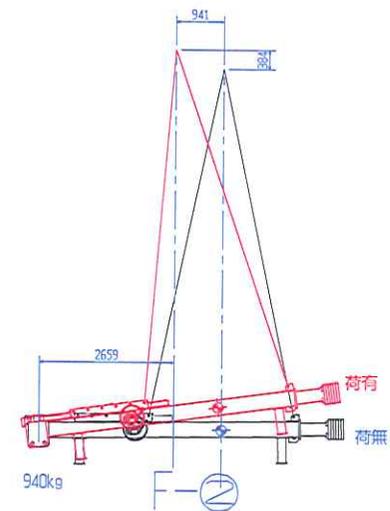
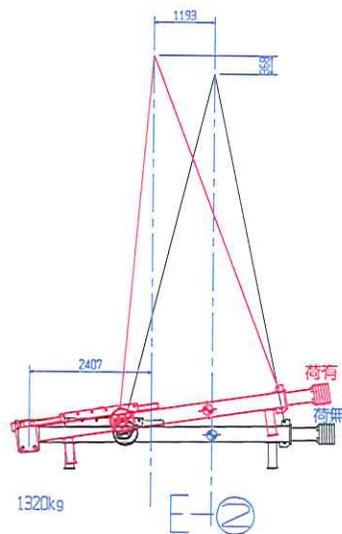
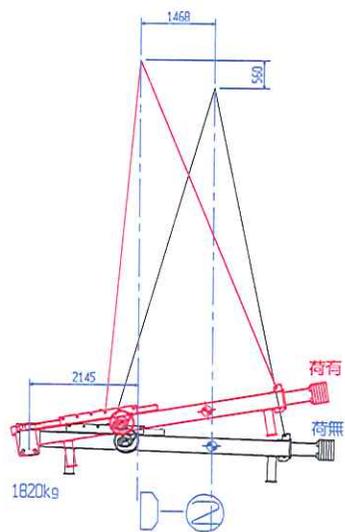
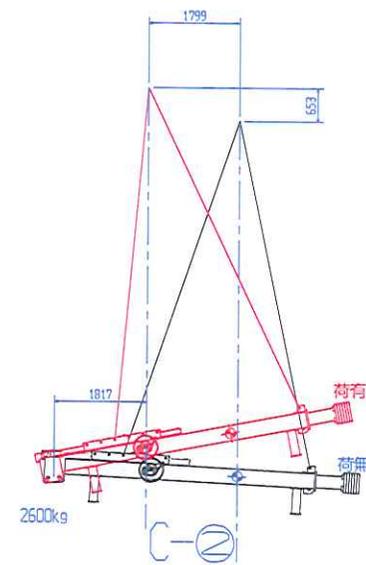
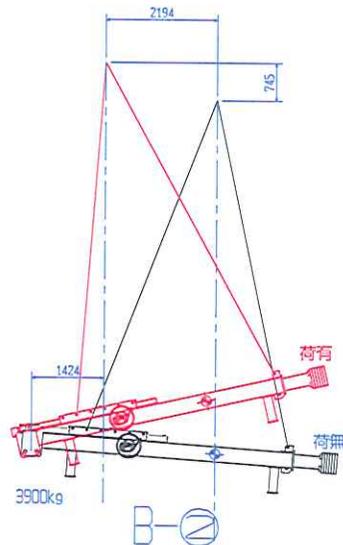
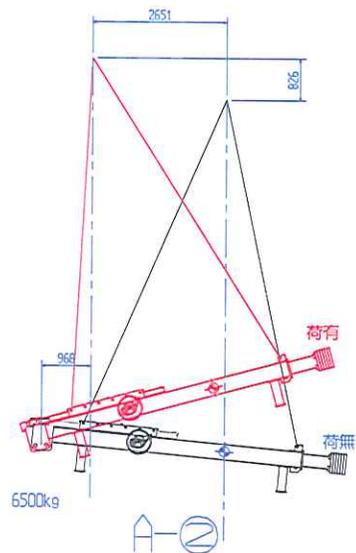


荷を下ろすと元の戻り、前方上側に移動します。

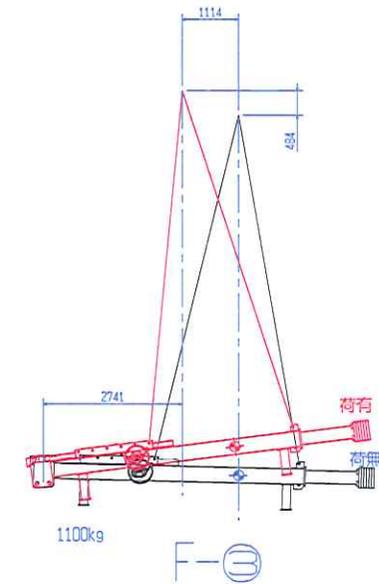
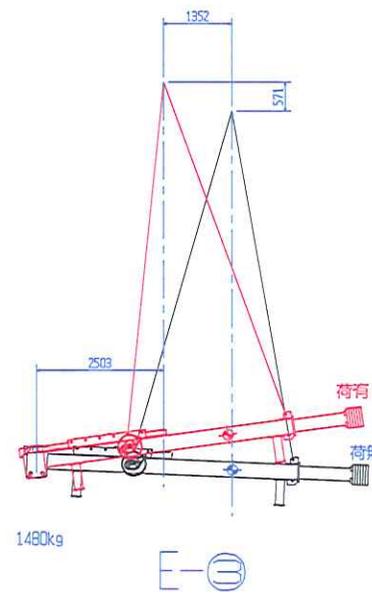
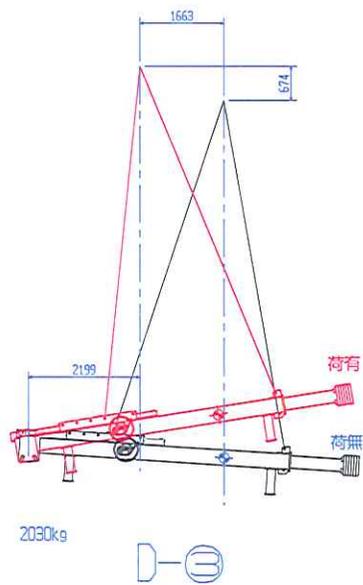
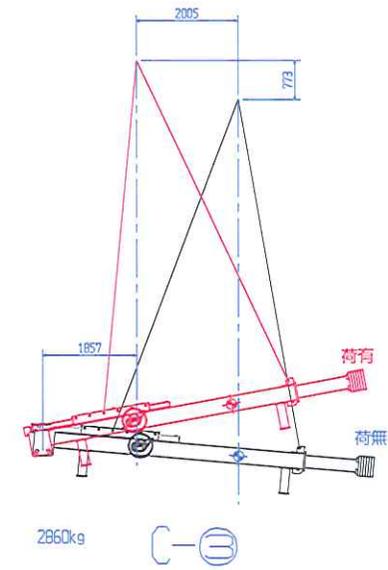
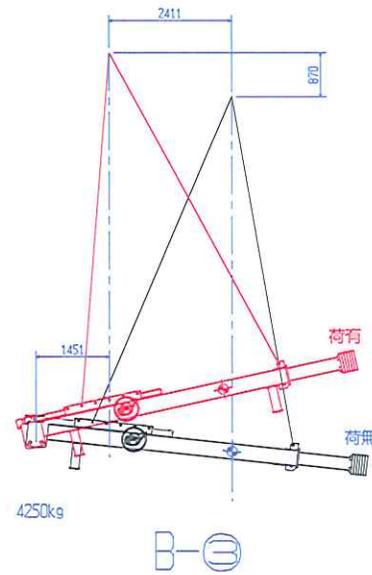
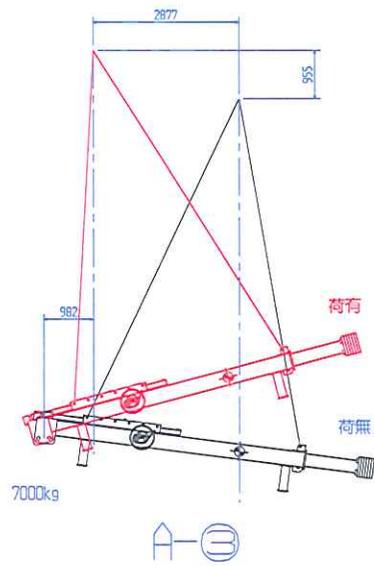
3. 最大荷重と姿勢変化 伸縮ウエイト位置が①の時(伸縮最短時)



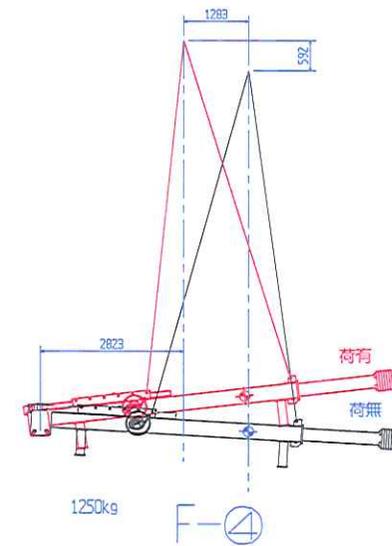
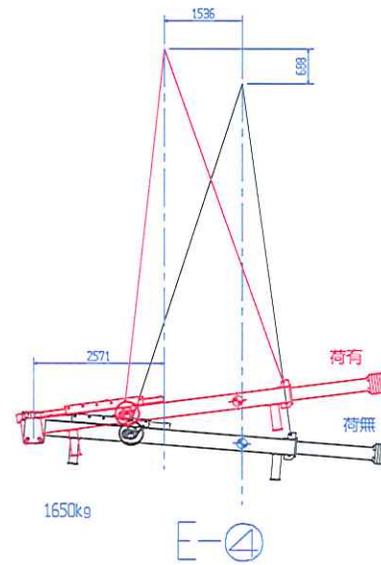
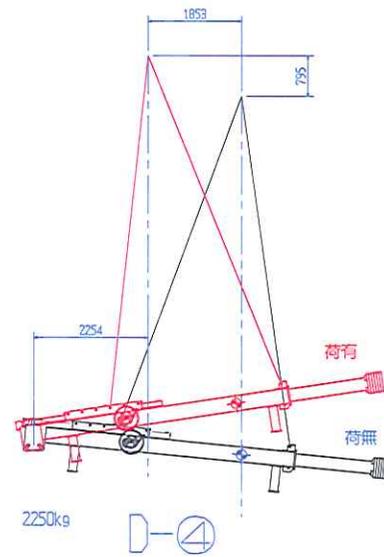
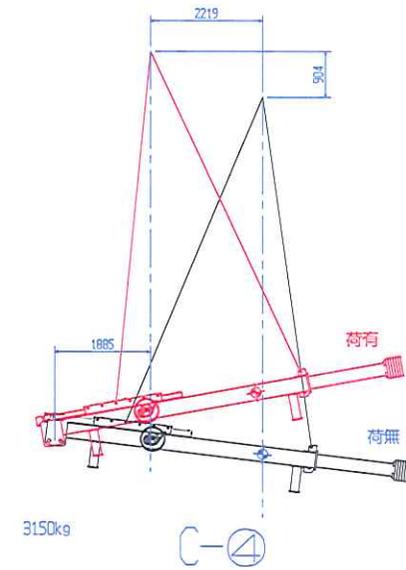
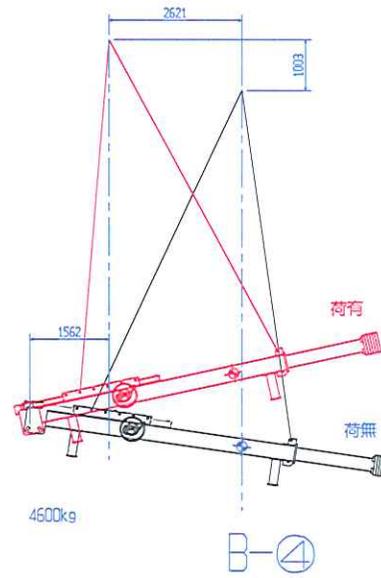
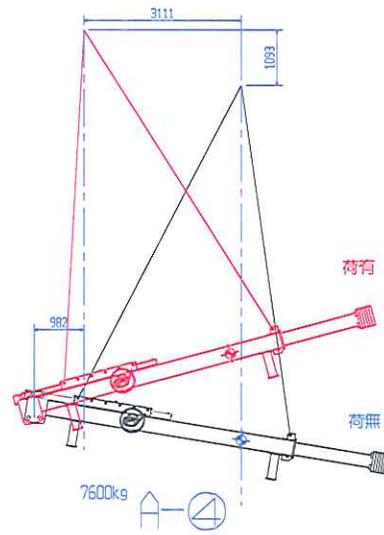
3. 最大荷重と姿勢変化 伸縮ウエイト位置が②の時



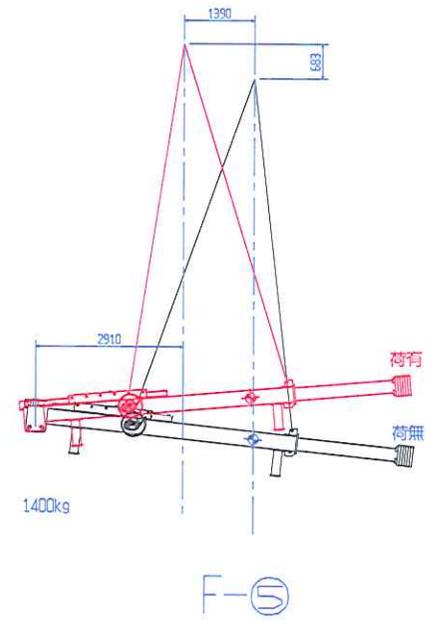
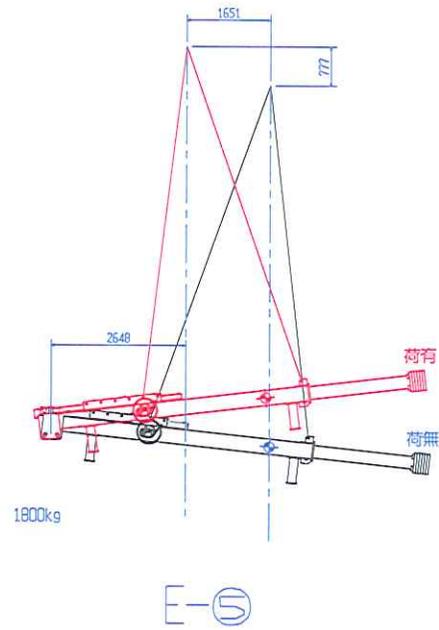
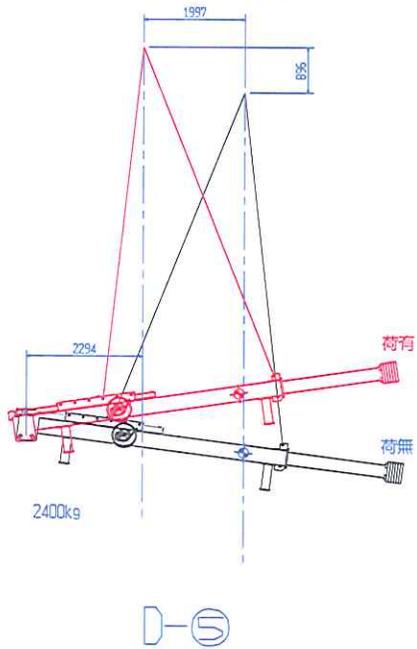
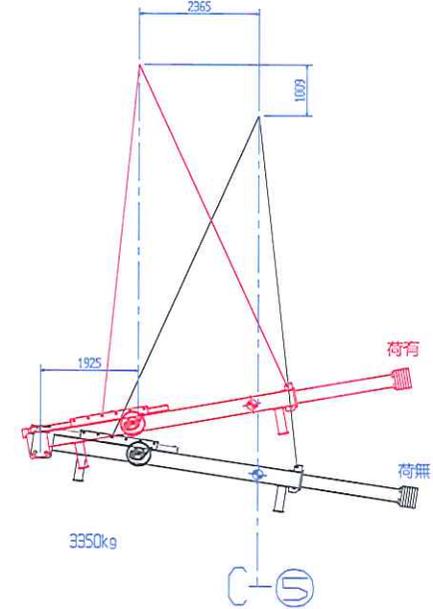
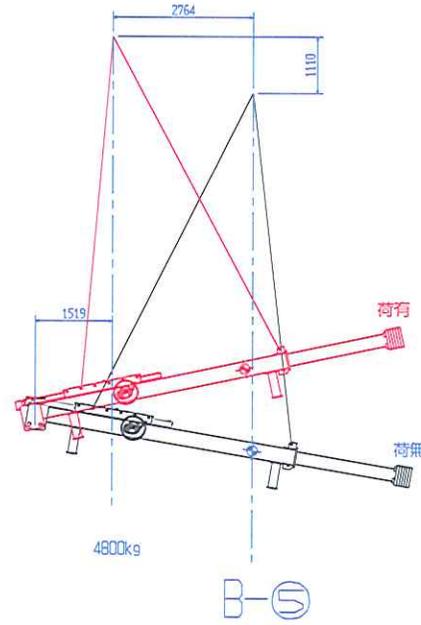
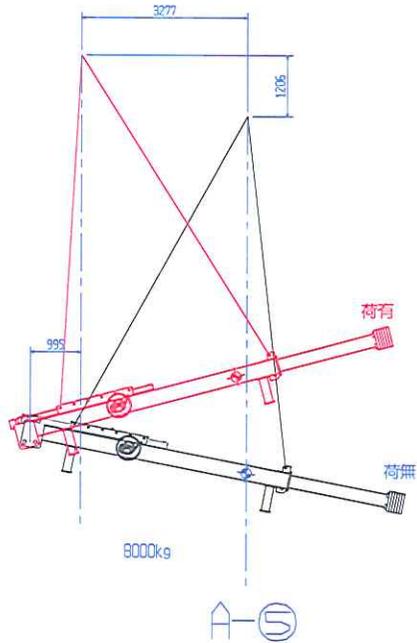
3. 最大荷重と姿勢変化 伸縮ウエイト位置が③の時



3. 最大荷重と姿勢変化 伸縮ウエイト位置が④の時



3. 最大荷重と姿勢変化 伸縮ウエイト位置が⑤の時 (伸縮最長時)

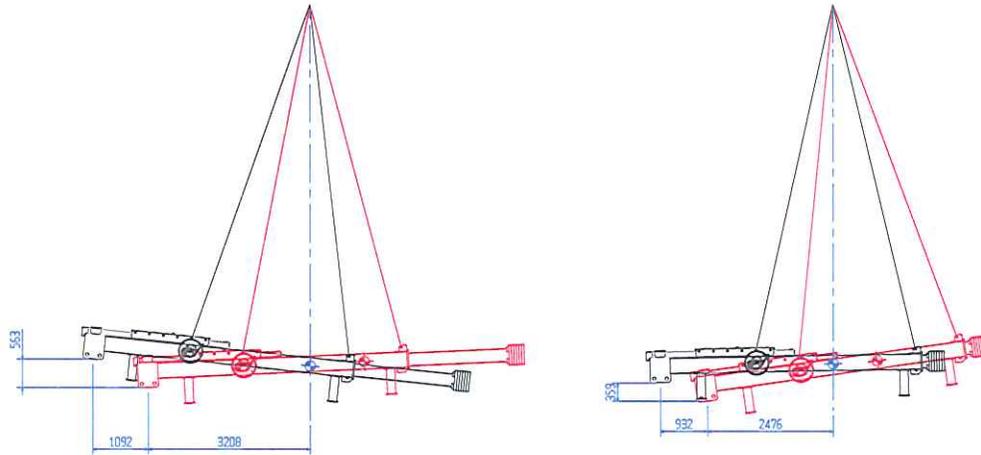


最大荷重早見参考表

	mm		kg
作業半径	前吊り位置	ウエイト位置	最大荷重
900	A	⑤	8,000
1,180	B	⑤	4,800
1,460	C	⑤	3,350
1,740	D	⑤	2,400
2,020	E	⑤	1,800
2,300	F	⑤	1,400
900	A	④	7,600
1,180	B	④	4,600
1,460	C	④	3,150
1,740	D	④	2,250
2,020	E	④	1,650
2,300	F	④	1,250
900	A	③	7,000
1,180	B	③	4,250
1,460	C	③	2,860
1,740	D	③	2,030
2,020	E	③	1,480
2,300	F	③	1,100
900	A	②	6,500
1,180	B	②	3,900
1,460	C	②	2,600
1,740	D	②	1,820
2,020	E	②	1,320
2,300	F	②	940
900	A	①	6,050
1,180	B	①	3,600
1,460	C	①	2,380
1,740	D	①	1,650
2,020	E	①	1,160
2,300	F	①	820

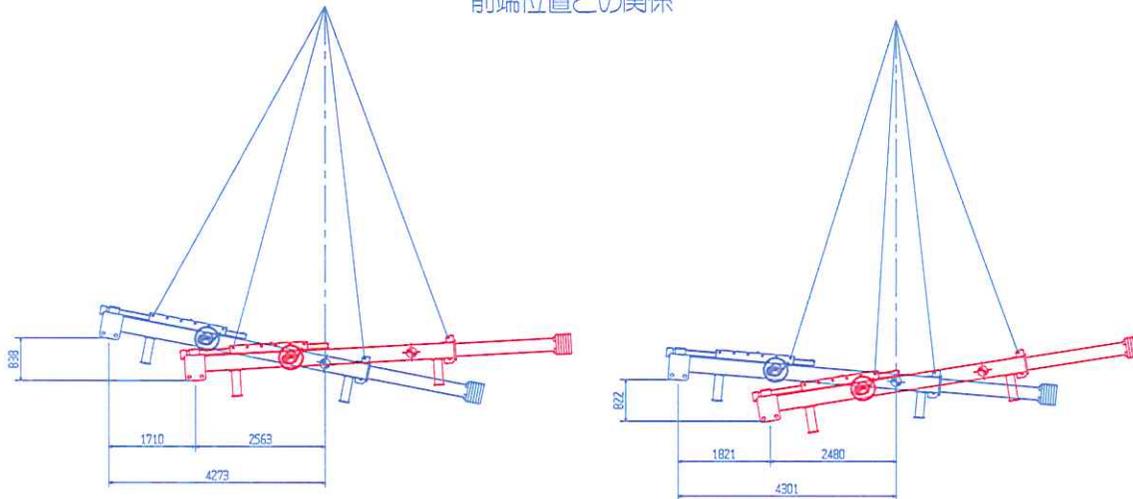
4. 各部変化と荷取吊治具の姿勢の関係

伸縮ウエイト位置との関係



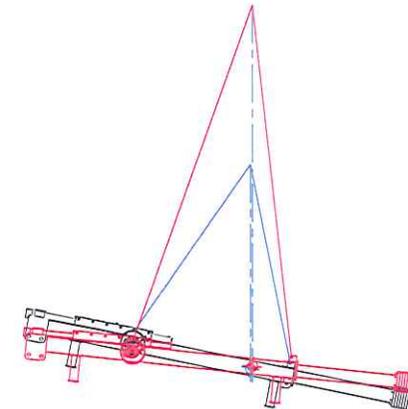
ウエイトはなるべく延ばしたほうが重いものも吊れ、且つ変心量も多いので使いやすいですが、全体長が長くなり、取り廻しは短いほうがよいです。

前端位置との関係

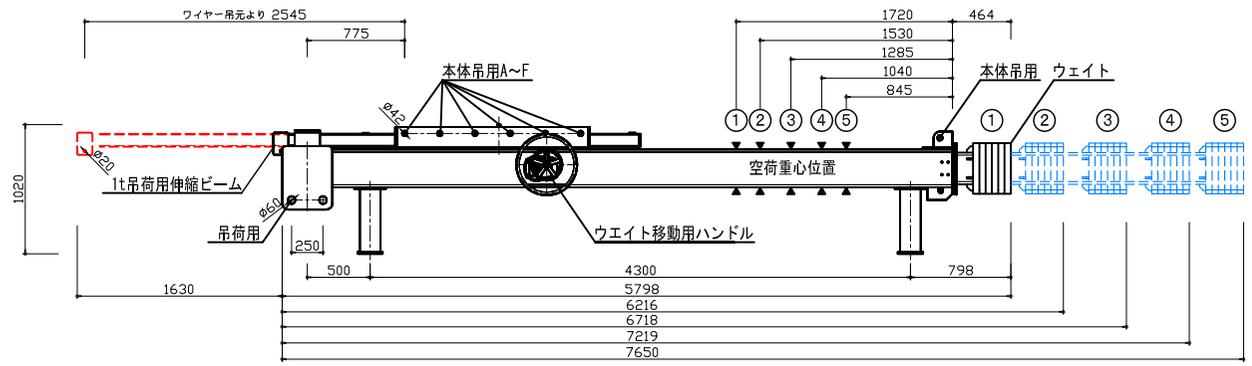


同一荷重を前端吊位置を変更して吊った場合、クレーンフックが障害物の下に来る場合は、前部を使ったほうがよいです。

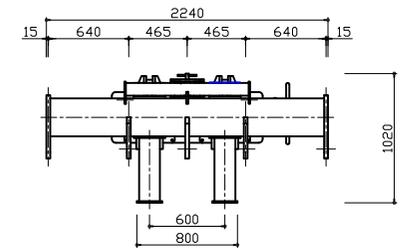
ワイヤーの長さの関係



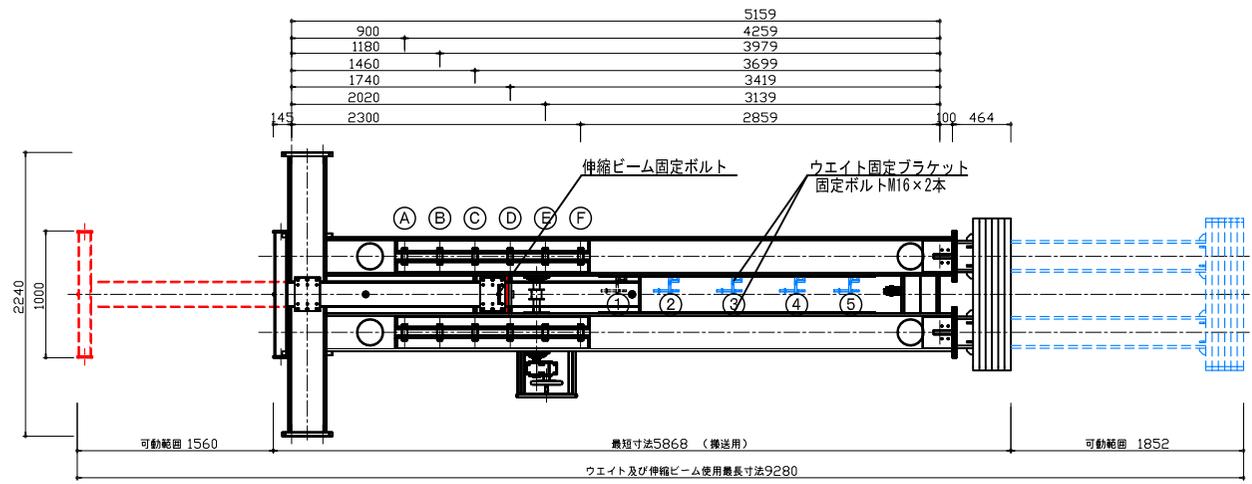
玉掛けワイヤーは長いほうが角度変化が小さく使いやすいです。



正面図



側面図



上面図

自重 : 3075kg

名称	廠			
	作業所			
伸縮 balancer-8t 外形図				
製図	検図	設計	年月日	縮尺
川島			H23.9/28	1/60
AKT/O AKTIO Corporation			図番	
			23-720-SKZ1	

始業前点検表

※コピーした物を使用して下さい。

平成 年 月 日

チェック 項目	チェック (該当部を○で囲む)	備 考
1. ワイヤーロープ、チェーン		
ワイヤーロープがキンクしていないか。	正常 ・ 異常	
ワイヤーロープの素線が切れている箇所及び特定の部分で直径が減少している箇所がないか。	正常 ・ 異常	
ワイヤー駆動側及び従動側の滑車に破損等はないか。	正常 ・ 異常	
ワイヤーロープに錆はないか。	無し ・ 有り	適度な給脂を行って下さい。
駆動軸へのワイヤーの乱巻きはないか。	無し ・ 有り	
2. 伸縮ウエイトハンドル		
減速機に潤滑油が入っているか。	無し ・ 有り	適度な給油を行って下さい。
ハンドルは回転するか。	正常 ・ 異常	ウエイト固定ボルトは外しましたか。
ハンドルを操作時に異常音等はないか。	正常 ・ 異常	
減速機の破損等はないか。	正常 ・ 異常	
3. 伸縮ウエイト		
ウエイトは可動出来るか。	正常 ・ 異常	ウエイト固定ボルトは外しましたか。
ウエイト可動時に異常音等はないか。	正常 ・ 異常	
ウエイト固定ボルト締め付け位置に停止するか。	正常 ・ 異常	
ウエイト位置決め後、固定ボルトは締付可能か。	正常 ・ 異常	
4. 伸縮ビーム		
ビームは可動出来るか。	正常 ・ 異常	固定ピンは外しましたか。
ビーム固定ピンは、正規位置で入っているか。	正常 ・ 異常	
	正常 ・ 異常	
5. その他		
各動作時に異常はみられないか。	正常 ・ 異常	
各吊りピース及び溶接部に亀裂等はないか。	無し ・ 有り	
各部のボルトの緩み及び紛失はないか。	無し ・ 有り	